

千代田界隈のレトロな風景



みどりの風



千代田銀座

祭りの一夜だけ登場する解放区

今年は7月29日です。(千代田保育園前通り)

今年も「かつて経験したことのない」集中豪雨で水害が起きている。もはや「経験のない」どころか毎年のようにどこかで土砂災害、堤防決壊等甚大な被害が発生している。温暖化で海面温度が上がり膨大な量の水蒸気が発生し雲となって移動し、これが「記録的短時間大雨情報」で表される雨の塊となる。これは山間部だけでなく都市部への襲来も予測されている。何か起きないと「気候変動」は実感できないがそれは多分確実に起きてきていることなのだと思う。夏の気温がそれで、子供のころの夏休み期間に三十度を超えることはそれほど頻繁ではなかったように思う。プールへ行っても寒くて唇を紫色にしていたことが多かった。

世界では気候関連の災害が原因で難民化した人の数は昨年だけで2400万人にのぼったといわれる。温暖化は内戦や紛争とともに、人々を難民化させる要因になっている。温暖化対策は今や人類の主要課題として捉えられている。また国の枠を超えた地球温暖化対策が必要である。世界の歩調を合わせようと協議が行われてきたがここに来て世界最大の二酸化炭素排出国アメリカがその協定から外れることになった。自国の石油、石炭、鉄鋼産業を保護するためと温暖化説を「フェイク(うそ)」だと決めつけるトランプ大統領の采配である。

化石燃料を原子力に変えれば良いという方向性ではない。再生可能エネルギーや省エネルギーの拡大が必要で福島原発事故以降世界のエネルギー投資は再生エネルギー開発と拡大に集中してきているという。

私たちができることは？。相模原市には「相模原市地球温暖化対策推進条例」がある。いくつかの対策項目を書き出してみよう。

エネルギー使用量の把握に努め、エネルギーの効率的な利用を实践する生活様式への転換に努める。環境物品を選択し、市内で生産された農産物の優先的な消費(地産地消)に努める・省エネルギー性能の高い機器の選択・自動車の使用をなるべく控える。エコドライブ。エコ性能の高い車への切り替え。・建築物の断熱性能の向上。建築物、敷地の緑化。森林の保全。・太陽光、太陽熱など再生可能エネルギーの優先利用。・4R(廃棄物の発生抑制、排出抑制、再使用、再利用)の実践。地球温暖化対策に必要なことは、地道な努力と大胆なエネルギー政策転換。

人・ひと日記

小林 功

2017.8.1

-NO.227-

発行 社会福祉法人悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター

042-751-0672

ヘルパーステーション千代田

042-704-0261

千代田介護支援センター

042-704-0281

千代田相談支援センター

042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

季節の行事：七夕



今年の七夕の日は、エレベーター内を夜空のイメージで装飾し、壁面に彦星、織姫、天井には天の川を飾りつけ、フロアー内では七夕の曲をかけて盛り上げました。食事もお楽しみメニューになっていて、おやつは天のがわに見立てた青いゼリーに星形のパフを乗せた清涼感が溢れるものでした。午後からは職員による紙芝居やハンドベルで『たなばたさま』や『キラキラ星』を演奏したり、いつもと違う雰囲気を演出することで、1日を笑顔で過ごすことが出来、大盛況でした。



8月の予定



体重測定	7日(月)～13日(日)
キーボード	6日(日)
書道	14日(月)、17日(木)
折り紙	17日(木)
歌のコンサート	13日(日)
シナプソロジー	16日(金)
誕生会	25日(金)～31日(木)
夏祭り	21日(月)～24日(木)



園芸： お花の植え替え



デイサービスの外側の花壇にマリーゴールドを植え替えをしました。皆さん夢中になりながら行っていました。お花は綺麗に咲いていて送迎時には車中から眺めています。

4階の畑ではミニトマトやカボチャなどが出来ていて、水まきをしながら、野菜の成長を見守っています。

7月の展示内容： 萩原隆一 油絵・陶芸展



7月の展示は、デイサービスを利用されている石井齊胤さんのご友人の萩原隆一さんの油絵・陶芸の作品を展示しました。

市民交流スペースのご案内

8月の予定

伊藤結子
陶芸展



第7回

星が丘地区ふれあいフェスティバル のお知らせ

今年も悠朋会として、うどん屋を出店します。
星が丘地区社協主催の福祉バザーも同時開催です。
バザーの品もありましたら、ご協力お願いします。
皆様のご来場をお待ちしております。

バザーの品 募集しています

出品可能のもの

新品のもの、手作り品

出品不可のもの

大きな家具、動物、古靴、古本
などは取り扱いできません。

10月19日までに星が丘公民館まで
ご持参ください。

千代田 de 映画会

第二回上映作品

人生フルーツ *Life is Fruity*



(C) 東海テレビ放送

建築家、津端修一さん90歳。妻、英子さん87歳。
風が通り抜ける雑木林の中で「ときをためる」暮らしをする夫婦の物語。
高度経済成長とともにこの国が見失ってしまったもの・・・
本当の豊かさへの深い思索の旅がはじまる、珠玉のドキュメンタリー。
ナレーション 樹木希林 上映時間 91分 製作 東海テレビ放送 公式HP life-is-fruity.com



人生、フルーツ。
こつこつ、ゆづくり。
果実が実る。
土が肥えれば、
土が肥える。
枯れ葉が落ちれば、
枯れ葉が落ちる。
風が吹けば、
風が吹く。

上映日 2017年9月18日(月・祝) ①14:00~(開場13:30)
②18:00~(開場17:30)

会場 メイプルホール(千代田2-2-15 メイプルビルB1F)

観覧料 500円

鑑賞ご希望の方は下記へ電話またはメールでお問い合わせ下さい。

TEL 042-704-0261(ヘルパーステーション千代田)

MAIL chiyodah@topaz.ocn.ne.jp

日時：平成29年10月22日(日)

10時~15時

場所：星が丘小学校グラウンド

中央区星が丘3-1-6

自信作の完成

甲斐 邦博

自分が作成するのでは無いが、より良い物を作ってもらおうと、トイレの改良工事を大工さんに依頼するのに、日々パソコンを前にしては構想から図面の製作まで四ヶ月余りの月日を要した。いい作品にしたいが為に次から次に新しいアイデアが思い浮かび、幾度も幾度も線を引き直す。線を引きは消して、描き直してみると、どこにか自分が描いた図面理想の高床式台の設計図面が朧に見えて来た。そして、車イスから便座にいざつて行くアプローチの着脱式になつて上板を以前の物よりは広く開けたかった。同時に、床下空間も広く取りたかったので、着脱式では無く片手でも開閉の出来る様に蝶番を用いて片開き式に板を取り付けてもらう事を提案した。

大工さん曰く、床下空間を広く開けると空間部分の支えが弱くなって、板の上上がった時に板が割れるのではないかと心配して、空間部分を大きく開けたくなさそうだった。が、この部分だけは前から大きく開けたいと思っていたところなので、自分も譲れずにギリギリまで考え、どうしても広く開けてもらう事が必要だったので自分の意志を貫いて大きく開けてもらう事にした。大工さんと自分との間に入つてコミュニケーションを取ってくれる仲介の人と幾度となく話を煮詰めて、最終的には板の上に重い体重の人が乗っても割れそうにない厚めの板を空間部分にはめ込み式にして、片方に蝶

番を取り付けて片手でも開閉可能になるようにした。

トイレ、洗面、洗濯をする時など、車イスから床に這いあがってはバランスが取れずに容赦なく頭を板張りにぶつけては痛い思いをしてきたが、板張りに厚めのウレタンを敷き詰めてもらい、その上からフロアシートで包んでもらえたので、今後は頭を板張りにぶつける回数が増えてもダメージが少なくなって良かったんじゃないかと思う。

トイレ改良工事は五月末に着手して、一日掛けて完全な物に仕上げてもらった。



これで足腰の弱くなったお袋が何時来られても、広くなったトイレになり圧迫感も無く気持ち良く使えると思う。健康者も、ごく普通に使ってもらえると嬉しい。

トイレが広くなって一番喜んでくれるのは日々の掃除・洗濯に入って下さつてヘルパーさんたちではないだろうか。十四・十五年間もの間、愚痴を一つ零さずにトイレの掃除・洗濯等をやつて下さつてヘルパーさんたちだが、大きく開けられる開閉板と、その下の空間部分が広くなったのを見て、窮屈さを感じることが無くなり、床下空間も広くなったので掃除がやりやすくなったのではないかな：なんて思つたりしている。

設計段階で一番難しく、どのような作品に仕上げていったらいいのかと悩み抜いた末の描いた作品だけに、理想の作品が完成して本当に嬉しく思っている。

甲斐 邦博 様
出生地:大分県
好きな女優:永作博美



編集後記

夏です。やとお祭りの季節がやってきました。毎週お祭りがあって大忙しです。七月の葛輪ふるさとまつりで山車をひいたら翌日筋肉痛でした。益々身体を鍛えようと誓いました。神輿は担ぐより見るほうが好き。イカの丸焼きが大好きです。 H